

「World Robot Summit 2018」に出展します！

～幕張新都心でパーソナルモビリティの公道試乗走行や近未来技術が体験できます～

千葉市は、「World Robot Summit 2018 (WRS2018)」(会期：10月17日～21日)において、ロボットの社会実装に関する先進的事例を地域で展示する自治体(全国8自治体)として採択を受け、幕張新都心での近未来技術実証の取組みの一つとして、パーソナルモビリティ公道試乗体験イベント等を実施しますので、お知らせします。

1 幕張新都心でのイベント概要(実証サイト展示)

(1) 実施日時

平成30年10月18日(木)、19日(金) 各日10:00～16:00(予定) ※雨天中止

(2) 実施内容

ア 『WHILL』試乗体験イベント

<実施内容>

- ① WHILL複数台(4台程度)の隊列による公道試乗体験
- ② 試乗体験簡易版
(区画内の砂利道や坂道などのコースを体験していただきます)

<実施場所>

- ① 幕張メッセ⇒海浜幕張駅をつなぐルート(下図1)
- ② 幕張メッセ2階中央エントランス前(下図2)

※体験者は現地で募集

イ 近未来技術展示

<実施内容>

- ① 自律走行デモンストレーション(小型自律走行ロボット、ILY-Ai)
- ② シェアリング機能デモンストレーション(WHILL)

<実施場所>

幕張メッセ2階中央エントランス前(下図2)



公道試乗体験イメージ

※なお、本イベントと幕張メッセで開催される「CEATEC JAPAN 2018」(会期：10月16日～19日)は、HP上で相互にPRを図っています。

WHILL公道試乗体験走行ルート【図1】



近未来技術展示等実施場所【図2】



2 東京ビッグサイトでのブース展示（会場内展示）

- (1) 会場 東京ビッグサイト 東6ホール
- (2) 日時 平成30年10月17日(水)～21日(日) 10:00～17:00
- (3) 千葉県ブース展示内容
幕張新都心での近未来技術実証の取組みのPR
・近未来技術の社会実装の取組みの紹介（パネル展示、動画放映等）
・ドローン、パーソナルモビリティの実機展示
- (4) 入場料 無料（登録制）

3 取材について

- (1) 当日の取材を希望される方は、幕張メッセ2階中央エントランス前会場（屋外）での受付をお願いします。取材の際は自社腕章を必ず着用し、係員の指示に従ってください。
- (2) 会場にお車でお越しになる場合は、駐車場のご用意はありませんので、近隣駐車場（有料）をご利用ください。

《参考》

1 World Robot Summit（ワールドロボットサミット）2018とは

- 人間とロボットが共生し協働する世界の実現を目指し、幅広い分野のロボットや関連製品を展示する展示会「World Robot Expo (WRE)」と、4つのカテゴリーからなる競技会「World Robot Challenge (WRC)」で構成。2020年に愛知県及び福島県で開催される本大会（WRS2020）のプレ大会に位置付けられている。
- 展示会「WRE」では、地域での展示を実施する自治体（全国8自治体）において、ロボットの社会実装の先進的な事例を実際の地域で紹介する「実証サイト展示」と東京ビッグサイトでの「会場内展示」を実施。
※東京ビッグサイトでは、民間企業等による最新の産業用ロボットから暮らしの中で活躍するサービスロボットまで一堂に展示するとともに、国内外の有識者を招いたシンポジウムの開催や来場者が体験できるプログラムを多数実施するほか、競技会「WRC」では、4カテゴリー（ものづくり、サービス、インフラ・災害対応、ジュニア）、全9種目を実施し、競技会（国内外より134チームが参加）を通じて、技術開発の加速とロボットが実際の課題解決に向けてチャレンジする姿を示す。

○その他

- ・主催 経済産業省、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- ・開催日 平成30年10月17日(水)～21日(日)
- ・会場 東京ビッグサイト 東6・7・8ホール
- ・入場料 無料（登録制）
- ・URL <http://worldrobotsummit.org/>
- ・地域展示採択自治体 愛知県、大阪府・大阪市、神奈川県、北九州市、相模原市、千葉市、福島県

2 展示品の概要（写真はイメージ）

WHILL (Model C)



Copyright (c) 2018 WHILL, Inc. All Rights Reserved.

WHILLとは、「全ての人の移動を楽しくスマートにする」をミッションに開発された次世代型のパーソナルモビリティ。道路交通法上、歩道の走行が可能。これまでに Model A、Model C の2種類のモデルを発表しており、両者に共通する特徴として挙げられるのが、①美しいデザイン、②オムニホイールという小さなタイヤが24個ついている前輪、そして、③リモートコントロール機能を有しているソフトウェアである。オムニホイールの前輪により、車体は後輪を中心にその場で回転することが可能となる。

ILY-Ai



Copyright (c) 2018 AISIN SEIKI Co., Ltd. All Rights Reserved.

ILY-Aiとは、乗車モードの「ビークル」、立ち乗りスタイルの「スクーター」、便利に荷物を運搬できる「カート」、使った後はコンパクトに収納できる「キャリア」の、4つのスタイルに変形できる未来のパーソナルモビリティ。3輪構成で、前輪が電動で駆動する仕様で、アクセルとハンドルで操作。また、安全機能として、飛び出しや障害物、路面の段差や穴などを検出することができる赤外線センサーを車両前方に搭載している。ILY-Aiは「Innovative Lifestyle for You」、「革新的なライフスタイルを皆様に」の英語の頭文字で、Aは「Active」、iは「Intelligent」を意味する。